

第5学年〇組 外国語活動 学習指導案

令和元年10月 日()第 校時
美里町立大沢小学校 第5学年 組
授業者 教 諭 長 島 弘 樹

1 単元名

Unit 3 What do you have on Monday? 『We Can! 1』

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学校生活を題材に学習を進め、世界の子供たちがどのような学校生活を送っているのか、どのような科目を学習しているのかなどを知り、世界には様々な学校生活があることに目を向けさせることができる。また、自分たちの「夢の時間割」を考えて発表することで、今まで知らなかった友だちの一面を知ったり、自分の考えを伝えたりするコミュニケーションの楽しさを味わわせることもできる。この「夢の時間割」を作成する中で、教科の学習や曜日の学習、I have ~on ~.などの表現に慣れ親しませていく。

本単元に関連する学習指導要領における領域別目標は次のとおりである。

〈聞くこと〉 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

〈読むこと〉 ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。

〈話すこと〉 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどをやり取り 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

(2) 児童観

(省略)

(3) 指導観

本単元は、既習の表現(have)を今までとは異なる場面で繰り返し扱い、一層の定着を図ることがねらいとなっているが、本学級の児童の中には十分に音声に身に付いていない児童もいる。そこで、既習の表現を意味のある場面の中で、繰り返し何度も聞かせることで表現に慣れ親しませる。また、活動をするにあたり、児童が思わず聞きたくなる、話したくなるような場面を設定していく。さらに、本単元の最終時に「夢の時間割」を伝えるという課題を第1時に児童と共有して、児童に英語を話す目的意識を持たせながら毎時間の活動に取り組めるようにしていく。帯活動として、歌の活動を通して英語のもつ独特のリズムに親しませるとともに、Teacher's Talkなどを取り入れ既習表現の定着を図れるようにする。

3 単元の目標

○他者に配慮しながら、自分の考えた時間割について伝え合おうとする。

【コミュニケーションの関心・意欲・態度】

○教科の言い方や時間割についての表現について慣れ親しんでいる。 外国語への慣れ親しみ】

○学校生活に関するまとまりのある話を聞き、世界の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付いている。 【言語や文化に関する気付き】

4 単元で扱う語彙・表現とその到達目標

- 表現 I like (English). What subject do you like? I have (English) on (Tuesday).
What do you have on (Tuesday)? Do you have (English) on (Tuesday)?
- 語彙 Japanese, English, math, social studies, science, music, P.E., arts and crafts, home economics, calligraphy, Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday.

言語表現・語彙	L	S	r	w
I like (English).	○	○		
What subject do you like?	○	○		
I have (English) on (Tuesday).	○	○	○	
What do you have on (Tuesday)?	○	○		
Do you have (English) on (Tuesday)?	○	○		
Japanese, English, math, social studies, science, music, P.E., arts and crafts, home economics, calligraphy,	○	○	○	
Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday	○	○		

L (Listening) = 聞き取って理解できる

S (Speaking) = ロに出して使うことができる

r (reading) = 音声と書いてあることを一致させることができる

w (writing) = なぞり書きと書き写しができる

5 本単元の指導と評価の計画

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○)【 】=誌面化されている活動	◎評価<方法>
	◆教科の言い方を知るとともに、学校生活に関するまとまりのある話を聞き、世界の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付いている。	
	○文字遊び ○【Song “Sunday, Monday, Tuesday”】 ○「これは何の教科？」 ○【Let's Watch and Think②】 ○ALT の夢の時間割	・【気】学校生活に関するまとまりのある話を聞き、世界の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付いている。 〈振り返りカード〉 ・【慣】教科の言い方について知る。 〈行動観察・振り返りカード〉
2 本 時	◆時間割についての話を聞いておおよその意味を推測しながら聞いたり、時間割について尋ねたり答えたりしている。	
	○【Song “Sunday, Monday, Tuesday”】 ○3 ヒントクイズ ○【Let's Listen】 ○【Let's Play】 ○「得意を伸ばそう小学校」へ行こう	・【慣】時間割についての表現について慣れ親しんでいる。 〈行動観察・振り返りカード〉
3	◆教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。	
	○Teacher's Talk 「持っているもの」 ○【Song “Sunday, Monday, Tuesday”】 ○「苦手克服小学校へ行こう」 ○「時間割を完成させよう①」	・【慣】教科の言い方や時間割についての表現について慣れ親しんでいる。 〈行動観察・振り返りカード〉
4	◆教科や曜日について尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合おうとしている。	
	○Teacher's Talk 「好きな曜日」 ○【Song “Sunday, Monday, Tuesday”】 ○「時間割を完成させよう②」 ○【Activity 1】「夢の時間割を伝えよう」	・【コ】他者に配慮しながら、自分の考えた時間割について伝え合おうとしている。 〈行動観察・振り返りカード〉

6 本時の指導計画(本時2/4)

- (1) 本時の目標
- ・時間割についての話を聞いておおよその意味を推測しながら聞いたり、時間割について尋ねたり答えたりしている。
- (2) 主な使用表現
- ・Japanese, English, math, social studies, science, music, P.E., arts and crafts, home economics, calligraphy, Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday.
 - ・I have English. Do you have English? What do you have?
- (3) 本時の展開

児童の活動		指導者の働きかけ		○指導上の留意点 ☆評価〈評価方法〉	時間
		HRT	ALT		
1 挨拶をする。		・全体に挨拶をする。		○外国語活動の時間が始まったことを意識させるために、英語で挨拶をする。	1
HRT : Hello, everyone. HRT : How are you today? ALT : Hello, everyone. ALT : How is the weather?		S : Hello, Mr.Nagashima. S : I'm fine. S : Hello, Mr.Rendel. S : It's sunny.			
2 Song “Sunday, Monday, Tuesday”		・歌を歌う。	・歌を歌う。	○英語独特のリズムに触れられさせるために、音の流れを意識して歌う。	3
Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again.					
		・歌の内容を想起させる発問をする。 ・歌えるところから歌うように働きかける。 ・ALT や児童に好きな曜日を尋ねる。	・歌詞に出てくる曜日カードを掲示する。 ・好きな曜日を答える。	○前時に学習したことを想起させるために、歌詞に出てくる言葉を発問する。 ○児童に歌えそうなところから歌うように、声をかける。 ○ALT や児童から出された曜日を歌わないように伝える。	
3 3 ヒントクイズに取り組む。		・5年生の教科書に掲載されているものについて英語で話す。 ・児童が当てた教科については、その教科の絵カードを掲示する。 ・3つのヒント以外には、どんなものが載せられているかを尋ねる。		○児童が内容を推測しやすくするために、既習の語彙や外来語等を使い、ヒントを出す。 ○児童から出された考えが教科書にあるかを確認するとともに、それについて英語で返すようにする。 ○「他にはどんな教科があるか」と発問し、3 ヒントクイズで扱わない教科名についても触れる。	4
Math Compasses, Numbers, Triangles, Ruler. Music Piano, Recorder, Harmonica, Violin. Science Beaker, Microscope, Medaka fish. Home economics Flying pan, Cup, Kitchen.					
4 【Let's Listen】に取り組む。 ・音声を聞いて、それがどの曜日かを考えて記入する。		・児童に今日のクラスの時間割について尋ねる。 ・児童が話した教科名と曜日を指し示しながら確認する。 ・当てはまる（ ）に数字を記入するように指示する。 ・その都度、全体で答えを確認する。	・教科書の時間割は何曜日にどんな教科があるかを発問する。 ・PC を操作する。 ・答えの確認時に、PC を操作する。	○本時の時間割と教科書の時間割を比較するために、Let's Listen に取り組むことを伝える。 ○児童に聞き取れた達成感を味わわせるために、活動に入る前に何曜日にどんな教科があるかを尋ねる。 ○ある程度まとまりのある文を聞いて、大まかに聞きとれる力を児童につけるため、1 度目は音声を途中で区切らず終わりまで流し、聞き取れた内容で判断するよう促す。 ○児童の様子から聞き取りにくい 曜日のものなどは数回音声を流し、途中で区切るなど聞かせ方を工夫する。 ○答えの記入が終わった児童には、教科名以外にどんなことを言っていたかを聞き取るように促す。 ○答え合わせの際には、PC の音声と一緒に教科名を言うようにし、言い方に慣れさせる。また、単に答え合わせに終わらないよう、ある教科が好きかどうかを児童に尋ねてやり取りをする。	8

T : Do you like P.E.? S1: Yes T : Oh, you like P.E.. T : Do you like P.E.? S2: No. T : You don't like P.E.. S2, what subject do you like? Japanese? Music? S2: Science. T : You like science.			
5 【Let's Play】に取り組む。 (1) 指導者同士のやり取りの様子を見る。 (2) 指導者同士のやり取りに参加する。 (3) 児童同士でやり取りをする。	・指導者同士でやり取りを始める。 ・指導者と全児童でやり取りをする。 ALT: (火曜日を選ぶ) HRT: (ALT は英語が好きなので、選んだ曜日を金曜日と予想し、英語があるかどうかを尋ねる。) Do you have English? ALT: Yes, I do. I have English. HRT: (児童に次は何と尋ねたら答えが分かるか尋ねる。) S: Home economics. HRT: Do you have home economics? ALT: No, I don't. I don't have home economics. S: Science を聞けばいいよ。 HRT: Do you have science? ALT: Yes, I do. I have science. HRT: (Is it) Tuesday? ALT: That's right. It's Tuesday. I have math, English, science, Japanese and arts and crafts. ・児童同士のやり取りの様子を観察する。	○始めは指導者同士で、好きな時間割のある曜日についてやり取りを始める。 ○児童に指導者の選んだ時間割を予想させたり、時間割を見てその曜日にある教科を徐々に尋ねさせたりする。 ○活動を立って行い、正解したペアから座るように声をかける。 ○児童の様子を観察しながら、ペア活動を支援する。 ○途中で中間交流を入れ、「思った通りに尋ね合えたか」を確認させ、必要に応じて指導を入れる。	12
6 「得意を伸ばそう小学校へ行こう」に取り組む。 (1) 指導者同士のやり取りの様子を見る。 (2) 指導者同士のやり取りに参加する。 (3) 児童同士でやり取りをする。 S1: (時間割を決める) S2: (S1 の得意な教科を考え、それがあかどうかを尋ねる。) Do you have English? S1: Yes, I do. I have English. S2: Do you have home economics? S1: No, I don't. I don't have home economics. S2: Do you have science? S1: Yes, I do. S2: Do you have Japanese? S1: Yes, I do. I have math, English, science and Japanese.	・活動の場面を説明する。 ・指導者同士でやり取りを始める。 ・指導者と全児童でやり取りをする。 ・児童同士のやり取りの様子を観察する。	○活動の場面を既習表現や外来語などを使って説明する。 ○始めは指導者同士で、「得意を伸ばそう小学校」の時間割についてのやり取りを始める。 ○児童に指導者が選んだ時間割を予想させたり、時間割にその教科があるかを尋ねさせたりする。 ○活動を立って行い、正解したペアから座るように声をかける。 ○なるべく少ない質問で時間割を完成させるように声をかける。 ○児童の様子を観察しながら、ペア活動を支援する。 ○途中で中間交流を入れ、「思った通りに尋ね合えたか」を確認させ、必要に応じて指導を入れる。 ☆【慣】時間割についての表現について慣れ親しんでいる。 〈発言・つぶやき・振り返りカード〉	12
7 振り返りをする。	・具体的な言葉で振り返りをするように声をかける。	○意欲を次の学習に繋げるために、児童の努力を称賛する。	3
8 挨拶をする。 HRT : That's all for today. Good bye, everyone. ALT : See you. S : See you.	・全体に挨拶をする。	○気持ちよく挨拶をさせる。	1